

請求異議 裁判打ち切り策動許すな！

住民決起と連帯し、

機能強化案白紙撤回へ！

空港機能強化 4者協延期

横芝光町 判断先送り

成田空港の機能強化策を巡り、国と県、成田国際空港会社（NAA）、空港周辺9市町が参加して5日に行われる予定だった4者協議会が延期された。横芝光町の佐藤晴彦町長が2日に受け入れ可否の判断の先送りを表明した影響だ。

団体「航空機騒音から生活を守る会」の集会に参加することを明らかにし、「集会での意見や町民の声をしっかりと受け止めたい」と述べた。その上で「町民が機能強化策に理解を示すかどうか問題だが、最後は私が総合的に判断したい」

5日に行われる予定だった 4者協議会が延期！



【写真上】4者協延期を報じる読売新聞（3月6日）
【写真下】芝山町殿部田区に新たに立てられた看板（3月5日）

市東さんの農地を守る闘いが文字通りの正念場を迎えています。

私たちは、請求異議裁判、署名、地裁包囲デモと運動を繰り広げ、1年以上にわたって最高裁の農地取り上げ決定を打ち砕いてきました。その請求異議裁判で高瀬順久（よしひさ）裁判長は、弁論打ち切りへの策動をあらわにしています。この春から夏が裁判終結＝強制執行との決戦です。市東さんとともに、百年耕してきた農地を守る闘いの陣形をつくりましょう。決戦本部の呼びかけに応える取り組みと署名拡大への協力を訴えます。

“大地の乱、”が始まった

成田空港をめぐる今、大きく情勢が動き始めています。

第3滑走路建設をはじめとした成田空港の機能強化案に対し、次々と怒りの声が湧き、相次いで「機能強化反対」の看板が立ち、住民が行動を開始しています。

横芝光町では、住民説明会で再見直し案を押しつける国とNAAに住民が激しく反発。佐藤晴彦町長は、空港機能強化案受け入れの可否について「現段階では合意できない」と判断を持ち越しました。

3月5日に開こうとしていた4者協議会は延期を余儀なくされました。住民が本気で立ち上がれば、政治は変えることができます。“大地の乱、”の始まりです。



「空港機能強化案」に反対し芝山町を縦断したデモ（3月4日）

私たちは、毎月の周辺一斉行動で住民の怒りと結び付き、3月4日には「空港機能強化案白紙撤回」を掲げた芝山現地闘争を闘いました。新たな住民決起と連帯し、住民とともに「絶対反対」「白紙撤回」の大反乱を巻き起こしましょう。

体を張って戦争とめよう！

安倍政権は3月25日の自民党大会で自民党改憲案を確定し、秋には改憲発議を強行することを狙っています。

歴史を画するこの時、戦争に反対し52年「国策」を阻んできた私たちは、来る4月1日、全国の闘いと結んで安倍政権と対決する陣形をつくるべく、全国総決起集会を開催します。

真に戦争・改憲を止める力は、「体を張ってでも止める」不屈の闘いです。「絶対反対」「実力闘争」の旗を高く掲げ、闘って安倍政権を打倒し、世の中を変えましょう。ぜひお集まり下さい。